

第 22 回 PIARC 世界道路会議

西村 巧*

By Takumi NISHIMURA

PIARC（世界道路協会）は、道路及び道路交通における最新技術・施策の研究、情報交換、啓蒙などの活動を行っており、現在 100 ヶ国以上が加盟している。

南アフリカ共和国ダーバン市で 2003 年 10 月 19 日（日）から 25 日（土）まで、7 日間にわたって開催された第 22 回世界道路会議は、“Connecting the World” をテーマとして、会議参加者は世界 108 ヶ国から約 2,000 名を数え、大臣・首長も約 40 名が参加した。各国が抱えている道路及び道路交通分野の課題に関する政策や最新技術について報告が行われた。

今回の世界道路会議では、PIARC の 5 つの戦略テーマ（ST）に関するストラテジック・ディレクション・セッション、20 の技術委員会による過去 4 年間（2000 年～2003 年）の活動を総括する技術委員会セッションのほかに、各国の大臣を招いて持続可能な開発について議論する大臣セッション、経済協力開発機構（OECD）、国際道路連盟（IRF）等の国際機関と連携して開催する特別セッション、各技術委員会が特定のテーマについて議論するアディ

ショナル・セッションが行われた。

会議期間中、セッションと併行して道路関連技術・設備・機器・材料・政策等の展示が行われた。出展した政府・企業・機関は世界 21 ヶ国から約 180 団体を数えた。

日本は、「日本の道路へのいざない」をメインテーマに、日本の道路を各国の行政担当者、技術者に幅広く知っていただくため、日本の四季のライドや各地方整備局の道路整備状況をビデオ上映するとともに、日本の道路整備状況、ITS 等の最新技術、舗装、橋梁、防災、環境等の道路技術及び海外協力について展示を実施した。



写真 - 1 日本ブース：ITS コーナー



写真 - 2 日本ブース：展示会の状況

表 - 1 PIARC 技術委員会（2000～2003 年）

PIARC 技術委員会 (2000～2003)	ST 3 道路及び道路交通管理 C 5 トンネル管理 C 13 交通安全 C 16 ネットワーク管理（ITS） C 17 冬期維持管理 C 18 リスク管理（道路防災）
ST 1 道路技術 C 1 路面性状 C 7/8 道路舗装 C 12 土工・排水・路床	ST 4 道路システム管理と道路行政 C 6 道路管理 C 9 経済評価 C 11 橋梁 C 15 効率的な道路行政
ST 2 道路交通、生活環境と持続可能な開発 C 4 都市間道路及び交通 C 10 都市内交通 C 14 持続可能な開発と道路交通 C 19 物流	ST 5 道路交通開発の適切な水準 C 2 住民参加 C 3 技術移転 C 20 適切な開発 T 道路技術用語

* 経済社会研究室